

投 稿 案 内

1. 本会の会員は「鳥取地学会誌」に投稿することができます。この場合、非会員との連名原稿も受理します。
2. 編集委員会から会員または非会員に投稿の依頼をすることがあります。
3. 2によらない非会員からの投稿があった場合は、編集委員会および幹事会にはかり受理の可否を決めます。
4. 投稿内容についてはとくに規定しませんが、鳥取県を中心とした地球科学に関するものを歓迎します。
5. 原稿はワードプロセッサを使用して作成し、電子ファイルを提出してください。
6. 原稿には表題、著者名、所属、本文、引用文献を含むことを原則とします。
7. 表題・著者名ともに30字以内の柱（ランニング・タイトル：各ページ上部欄外の見出し）原稿をつけてください。
8. 句読点は、ピリオド（.）カンマ（,）とします。
9. 数字、英字は1マス2字（半角）、句読点、カッコ、:、;などは1マス分（全角）としてください。
10. 刷り上がりはA4版、本文は2段組とします。1段の幅は80mm、2段の幅は168mmとなりますので、図表の作成時に考慮してください。
11. 図、表、写真の大きさは、編集委員で決めますが、刷り上がり2ページ（見開き）を限度とします。
12. 図・表・写真には番号だけを記入し、題名・説明文は、別のページにまとめて記入してください。図表等を転載する場合は必ず転載許可を得てください。
13. 印画紙の写真はスキャナによる読みとりを行いますので、解像度はあまりよくありません。あらかじめご承知ください。
14. 図・写真など、全ページカラーで印刷します（カラー化にかかる印刷費用の投稿者負担は必要ありません。）
15. 投稿者はレイアウトイメージを作成してください。それを元に担当の編集委員と校正打合せを行ってください。
16. 文献は本文中で引用したものに限り、本文末尾に著者名のアルファベット順、同一著者のものは発表年代順に並べて列挙してください。書式は次の例のとおりとします。
(雑誌論文の場合)
著者名1・著者名2（西暦発表年）論文題目。
掲載誌名、巻(号)、ページ始めーページ終わり。
(単行本の場合)
著者名1・著者名2（西暦刊行年）書名、出版社名、最終ページp.
17. 以上を含めて、刷り上がりのスタイルは会誌最新号を参照してください。
18. 原則として原稿は返却できませんが、校了原稿のPDFデータを配布いたします。
19. 保証書を編集幹事にお送りください。

附則
・平成29年11月29日一部改正
・平成30年6月2日一部改正
・令和3年6月12日一部改正
・令和5年3月31日一部改正

保証書

年 月 日

著作者(代表者)氏名: 印

住所:

原稿表題:

署名者が代表する共著者すべての氏名:

著作者(代表者)は、鳥取地学会発行の「鳥取地学会誌」に 投稿した上記表題の原稿(著作物)についての下記各事項を保証し、確約します。

1. 著者全員が投稿原稿を読み、投稿に同意していること。
2. 著者(又は上記共著者)が、本原稿の著作権を有していること。
3. 本原稿は、鳥取地学会誌の投稿案内を満たすものであること。
4. 他の学術誌及びそれに類する紀要などの媒体に投稿していないこと。
5. 本原稿が既存の出版公表物などに対する知的財産権へのいかなる侵害も含まないこと。
6. 本原稿中に他から転載されている全ての図表について、転載許可を得ていること。
7. 本原稿中、他の論文等の引用がある場合には、当該引用が公正な慣行に合致し、目的上正当な範囲内であること。
8. 本原稿には、鳥取地学会の名誉を傷つけ、鳥取地学会誌の信用を毀損する盗用データ、捏造データ、本原稿に関する利害を持つ者の合意に反するもの、その他学会の倫理綱領に反するものを含まないこと。
9. 本原稿が共同著作物である場合には、代表して本保証書に署名捺印する者が、全ての共著者から、本保証書に署名捺印することについて同意ないしは必要な権利を得ていること。
10. 本原稿についての問い合わせ、苦情、紛争などが発生した場合、署名者はすべての責任を負うこと。
11. 本原稿を作成するに当たって行われた調査・研究行為が、適切な方法でなされたものであること。

注記 1】本原稿に法人等の業務に従事する者が関与しているときは、当該法人等が共同著作者となる場合(著作権法 15 条 1 項)がありますのでご注意ください。

注記 2】本保証書を印刷し、必要な共著者名等を記述したうえで、投稿原稿とともに編集幹事へ送付下さい。本保証書への署名がないと、原稿の受付ができません。

以上

原稿受付番号 ー (受付日 20 年 月 日) [*編集幹事記入]

投稿原稿にはすべてこの保証書をコピーし、署名・捺印してお送り下さい。